

第47回鹿児島陶芸展

会 期 平成31年4月5日（金）から14日（日）まで ※8日は休館
会 場 鹿児島県歴史資料センター黎明館
主 催 鹿児島県・南日本新聞社
特別協賛 本坊酒造

1973（昭和48）年に始まった鹿児島陶芸展は、まもなく半世紀を迎えます。毎回、造形美を追求した力作が発表され、多くの陶芸ファンを楽しませてきました。世代の垣根を越え、技術と感性を研ぎ澄まし生まれた労作の数々は、鹿児島陶芸界の現在を形作っています。伝統を重んじた魅力ある作品、陶芸の新たな可能性を秘めた作品を歓迎します。

審 査

審 査 員 金子 賢治氏（茨城県陶芸美術館長）
新里 明士氏（陶芸家）

入選発表 平成31年4月1日（月）付 南日本新聞紙上（予定）

表 彰

表 彰 式 平成31年4月12日（金）午後2時から 南日本新聞会館（予定）
表 彰 ・ 鹿児島県知事賞（副賞金10万円）
※創作・テーマ両部門の出品作品を対象とする
・ 【創作部門】 南日本新聞社賞（副賞金5万円）
優秀賞3点、特選、入選
・ 【テーマ部門】 あらわざ賞・優秀賞（副賞金3万円、焼酎「あらわざ桜島」）3点、
特選7点、入選
・ 【招待者】 招待者特別賞（副賞金5万円）

実施要項

- 作品搬入 平成31年3月29日(金)、30日(土) 午前9時30分から午後4時まで
鹿児島県歴史資料センター黎明館 搬入口
- 作品搬出 選外作品=4月 1日(月) 午前9時30分から午後4時まで
入選作品=4月15日(月) 正午から午後4時まで
- 出品料 1部門につき 1点=4,000円 2点目から=3,000円
大学生・専門学校生以下は1点2,000円(搬入時に学生証を提示)(いずれも税込み)
※部門ごとの複数出品と学生・生徒には割引制度があります。
両部門に1点ずつ出品する場合の割引はありません
※出品者1人に対して会期中何度でも入場できる「優待証」を発行。
また、出品1点につき「招待券」を1枚進呈

創作部門

- 公募対象 鹿児島県内の在住者または出身者でこの陶芸展のため制作した創作品
- 作品内容 伝統的な作品、現代的な作品、いずれも造形性を追求したもの
- 作品規格 運搬、展示に支障のない状態、大きさであること

テーマ部門

- 公募対象 鹿児島県内の在住者または出身者でこの陶芸展のため制作した創作品。また、窯元やグループでの出品も可
- 作品内容 ・和洋の酒器(焼酎、ワイン、洋酒、麦酒などを楽しむ器)
・日々の生活を彩る酒肴器(酒の肴を楽しみ、味わうための皿や鉢などの器)
- 作品規格 幅70cm以内、奥行き40cm以内、高さ25cm以内のスペースに展示できること
(セットは10個以内)

<注意>

- ①受け付けた作品の管理には主催者で十分注意するが、自壊した作品や、やむをえず生じた事故・災害による損害については、主催者は責任を負わない
- ②事前に発表済みの作品など主催者が不適当と判断した場合は、入賞入選決定後であっても賞を取り消すことがある
- ③テーマ部門の入賞入選で販売を希望する作品は、「出品者の連絡先」などを会場で公表するので、申込書の「販売希望者の連絡先」に必ず記入すること。なお、販売は出品者と購入希望者の直接取引とする
- ④テーマ部門の入賞作品は巡回展に展示するため返却が遅れることがある
- ⑤本展に出品した作品の著作権は作家に帰属するが、主催者は入選以上の作品を発表、公開する権利を持つものとする
- ⑥本出品規定に記載されていない事項について問題が生じた場合は、主催者の指示に従うこと

※出品申込書にご記入いただいた個人情報は、本展の開催・運営にのみ使用いたします。

問い合わせ先

〒890-8603 鹿児島市与次郎1-9-33
南日本新聞社 事業部「鹿児島陶芸展」係
TEL099 (813) 5053 FAX099 (813) 5087